

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 流通機能の充実
-----	-----------

施策主管課	中央卸売市場	総合計画記載頁	138ページ
-------	--------	---------	--------

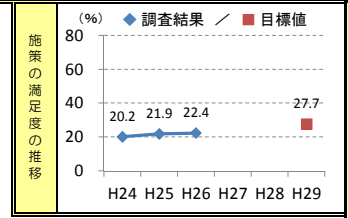
1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	18 商工業の活力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	社会経済環境の変化に柔軟に対応し、「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、地域経済が活性化しています。
------	----------------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	食料品などの流通体制が確保され、消費者に安定的に供給されています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	中央卸売市場年間取扱金額	単年度目標値	536	543	550	557	564	571		B	指標2	施策の満足度(%)	調査結果	20.2%	21.9%	22.4%			
現状値		実績値	430	413	411				目標値(H29)	27.7%			前年度からの増減		1.7%	0.5%				
目標値(H29)		単年度の達成度	80.2%	76.1%	74.7%															
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)																				B
① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	【参考】中核市等との水準比較	中央卸売市場取扱高(青果物、千円)／市民1人		中核市平均	52	50.6	46.2					
	現状値		実績値	65.51	59.69	55.95					中央卸売市場取扱高(水産物、千円)／市民1人		中核市平均	42.7	42.9	39.6				
	目標値(H29)		単年度の達成度								中核市での本市の順位		中核市での本市の順位	4位/17市中	4位/16市中	4位/16市中				
	現状値		実績値								中核市での本市の順位		中核市での本市の順位	8位/15市中	10位/14市中	11位/14市中				
	目標値(H29)		単年度の達成度								中核市での本市の順位		中核市での本市の順位							
	目標値(H29)		単年度の達成度								中核市での本市の順位		中核市での本市の順位							



※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

施策を取り巻く環境等	・卸売市場を取り巻く社会状況として、少子高齢化によって食料消費量が減少しており、また、市場外流通が増加している。 ・施設については、市場開設から40年目となり、老朽化による緊急修繕工事が大幅に増加しており、また、平成32年度までに冷媒ガスの製造禁止に伴う冷蔵設備の更新が必須となっている。	市民満足度	・月1回実施の一般開放や各種講座について、市民の周知や内容の充実に継続して取り組み、一般開放来場者数は増加傾向で推移しており、各種講座も定員を上回る申し込みがあることから、市民の満足度が上昇している。	総合評価	75点
施策指標	・市場を取り巻く環境は厳しい状況が続くものの、市と市場関係者が活発な情報交換や集荷・販売戦略の構築を行うなど、連携して事業を行う体制の強化が図られたことなどにより、取扱金額は下げ止まりの動きがみられた。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	・市場内コミュニケーションの強化	○★	・食の安定確保と物流体制の強化	・市場関係者	・事業懇談会の開催	計画どおり	0	H24		・市と市場関係者による、定期的な事業懇談会を設置し、活発な情報交換や集荷・販売戦略の構築など、共通した経営戦略の推進を図る。
2	・危機管理の強化	○★	・食の安全・安心の確保	・市場内業者	・危機・災害対策の強化 ・生鮮食品の品質の確保	計画どおり	0	H22		・消費者に対して安定して生鮮食品を供給するため、市と市場関係者が合同で訓練を行うことで、非常時に協力して対応できるような危機・災害対策力を高める。 ・品質管理を高度化し、安全で安心な生鮮食品を供給するため、低温売場の拡充等について再整備と合わせて庁内関係各課及び市場関係者と協議を開始する。 ・食品衛生法違反や食品表示違反などの食品危害に対し迅速に対応するため、「危機管理マニュアル」の周知徹底に努める。
3	・宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進	○★	・市場と食に関する情報発信の充実	・一般開放実行委員会 (市場内業者で組織) ・一般消費者	・一般開放の推進	計画どおり	1,200	H24		・市場が生鮮食品を安定供給する重要な役割を担っていることを消費者に対して広くPRし、市場の理解を深めることを通じて生鮮食品の消費拡大を図り、市場活性化の推進に寄与することを目的とした、一般開放の開催を推進する。 ・関連課の常時開放の課題であった「大規模小売店舗立地法」の手続きが完了したことから、平成27年度から常時開放を推進していくことで、市場の活性化を図っていく。
4	・食育地産地消の推進	○★	・市場と食に関する情報発信の充実	・一般消費者	・市場講座、出張講座、親子見学会、食育フェア(模擬せり)の開催	計画どおり	305	H19		・市場が生鮮食品を安定供給する重要な役割を担っていることを消費者に対して広くPRし、市場の理解を深めることを通じて生鮮食品の消費拡大を図り、市場活性化の推進に寄与すること、及び、地産の美味しい生鮮食品を知ってもらうことで、地産地消を広めることなどを目的とした、食育地産地消を推進する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆少子高齢化による食料消費量の減少や市場外流通の増加など厳しい社会状況の中、今後も市場の重要な役割である「安全・安心な生鮮食品の安定供給」を引き続き担っていくため、「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン」や「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン推進計画」に基づき、集荷力・販売力の強化や市場の役割のPR強化に努め、市場を活性化させることが求められている。</p> <p>◆耐震診断の結果を踏まえた耐震補強工事などのほか、生鮮食品の安全・安心を確保するために不可欠なコールドチェーン、市場開設から40年経過することによる老朽化対策やフロン対策が必要となる冷蔵設備の更新など、施設や設備を含む市場全体の再整備が求められている。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆市と市場関係者で組織する「宇都宮市中央卸売市場連絡会議」において、活性化ビジョン推進計画の進捗管理を着実にを行うことで市場の活性化を推進するとともに、今後の市場の再整備の内容について、「宇都宮市中央卸売市場連絡会議」において市場関係者との意見交換・連絡調整を行いながら、庁内関係各課と検討を進め基本計画を策定する。</p> <p>〈主要事業〉 ◆市場内コミュニケーションの強化…「事業懇談会」において市場内関係者とのコミュニケーションを強化し、緊密な連携を取りながら「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン」及び「宇都宮市中央卸売市場活性化ビジョン推進計画」を推進する。 ◆宇都宮市中央卸売市場一般開放の推進…これまで実施してきた一般開放や関連課の常時開放について広くPRするとともに、市場内に新設した情報発信コーナーの充実を図り、市や市場に関する情報発信を強化する。 ◆食育地産地消の推進…市場の各種講座や見学会の実施、食育フェアへの参加を通じて、引き続き食育や地産地消を推進する。 ◆危機管理の強化…被災時においても、安全・安心な生鮮食品の供給が可能となる様、市場関係者の体制を強化するとともに、施設整備について再整備基本計画を策定する中で、安全対策のための耐震化や品質管理の高度化のための施設・設備の更新等を検討する。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>